

北海道新幹線の札幌延伸に向けた決議

北海道新幹線建設促進関係自治体連絡協議会は、政府・与党との政策対話を確実に積み重ねることで、平成22年度において北海道新幹線札幌延伸の全線フル規格での整備が認可されるように、次の事項につき、関係自治体として決意をもって取り組むことを決議する。

1. 開業効果の最大化に向けた検討促進

(1) 新幹線開業を見据えた街づくりの推進

関係自治体が将来においても魅力と活力にあふれた街であるためには、新幹線による地域間交流の促進が必要不可欠であり、新幹線開業を見据えた街づくりを積極的に推し進める。

(2) 東北地方等との広域的な連携強化

北海道新幹線札幌延伸の効果は道内のみならず広範な地域に及ぶものであり、とりわけ東北地方との観光・産業・文化等の幅広い交流が促進されることにより、我が国経済の発展にも大きく寄与するものとなるため、本連絡協議会においても、東北地方との広域的な連携強化を推し進めていく。

2. 諸課題への取組み

(1) 建設費の地方負担

北海道新幹線の整備は、広範な地域に大きな経済効果を及ぼすものであり、今こそ早期の着工が必要不可欠な事業と位置付けたうえで、厳しい地方財政の中ではあるが、現行の地方負担の考え方を尊重することを確認する。

(2) 並行在来線の取り扱い

並行在来線の取り扱いについては、地域の重要課題であることをしっかりと受け止めつつ、食糧供給基地等としての北海道の国家的役割を十分に果たしていく上で貨物路線の維持が不可欠となることを認識し、北海道並びに関係機関との協議を促進させ、あわせて国やJR北海道からの支援・協力が得られるよう積極的に働きかけていくことを確認する。

2010年（平成22年）1月14日

北海道新幹線建設促進関係自治体連絡協議会